

みくまの 9月号 マンスリータイムズ



ボランティアスクール

みくまの支援学校では、障害のある子どもたちを正しく理解していただき、共感と支援の輪が広がることを願って、本年度も夏休みの時期に計5回のボランティアスクールを開催しました。スクールには15名の高校生が参加してくれ、講義・車イス体験・児童生徒との交流を行いました。どの講座でも、とても熱心に学ぶ姿が見られました。スクールを終えての感想を簡単に紹介します。



感想 (Aさん)

すべての講座に参加させてもらって毎回、毎回、違った感じで大切なことを学ばせてもらいました。障害に対するの興味や関心が前よりも増えました。

感想 (Bさん)

障害のある人を今までは自分とちがう人、とおい人だと思っていたけど、実際に話を聞いてふれあってみて、とても近く感じたし、そんなに身構える必要はないんだなと思いました。



みくまの太鼓 那智勝浦町子ども体験博にて

11月24日(日)那智勝浦町体育文化会館にて開催された那智勝浦町子ども体験博のステージ発表の最後で、みくまの支援学校教員による三宅太鼓を披露しました。

「一打入魂」の想いで望んだ12分間の太鼓演技！

気力も体力も全力で、会場全体に鳴り響く迫力ある太鼓や木遣り歌に拍手喝采でした。



中学部 夏祭り

8月3日に中学部では、夏祭りを行いました。お店はかき氷や流しゼリー、スイカ割りゲームなど季節を感じられるようなものが中心でした。みんな、ボランティアスクールに参加してくれた高校生や学部の友だちと話を楽しんでいます。また、お店の混み具合を見て、回り方を考えている生徒もいました。



スイカ割りゲームや射的は、周りの生徒の応援もあり、大盛り上がり！

かき氷や景品のお菓子を食事スペースで談笑しながら、おいしそうに食べていました。



小学部 夏祭り

8月4日(金)に、小学部で夏祭りを行いました。夏を感じる活動を通して生活経験を豊かにすること、活動を通して集団でのルールやマナーを学ぶことを目標とした取組でした。射的・ヨーヨー釣り・かき氷・エアポリン・ボールスライダーのお店があり、みんな約束や順番を守って楽しむことができました。かき氷は、「おいしい」、「冷たい」、「涼しくなった」と大喜びで食べていました。

当日は、11人のボランティアスクールの高校生達も参加し、各コーナーを担当したり、子どもたちと一緒にコーナーを回ったりしてくれました。

